

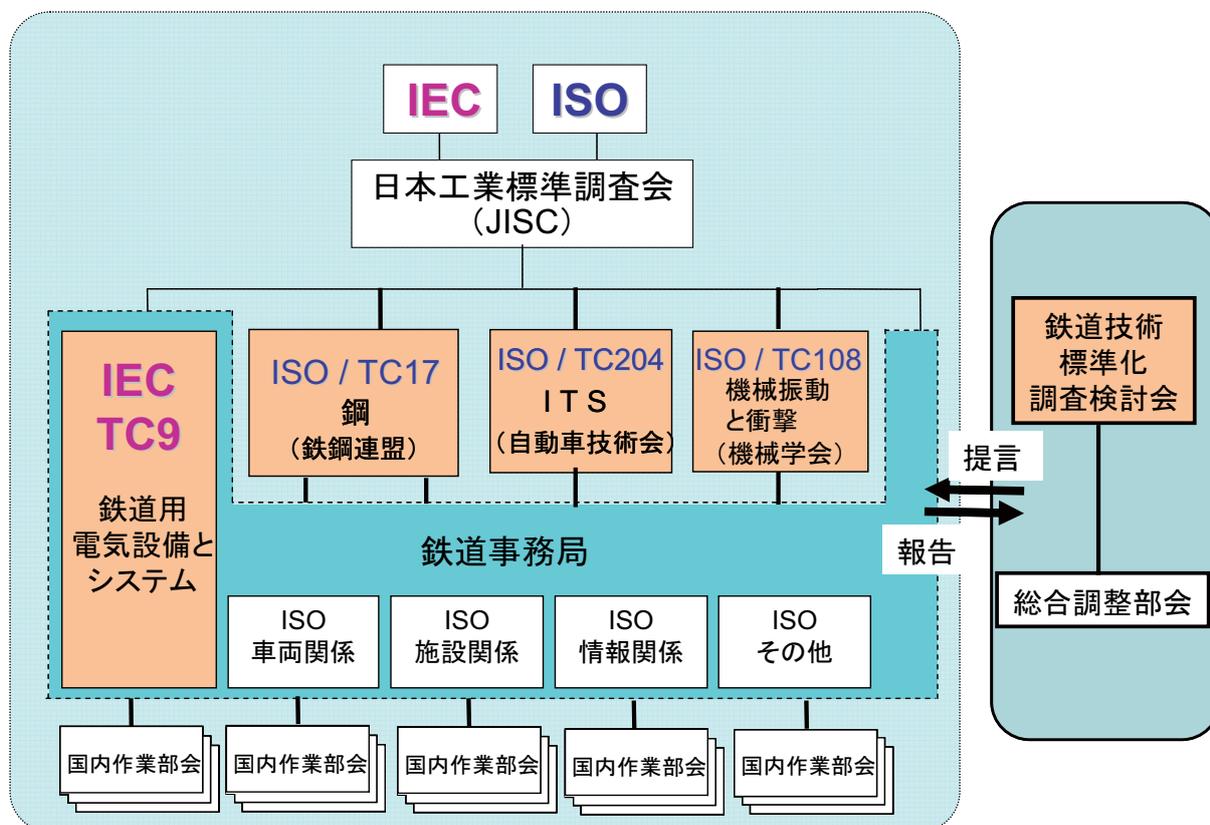
鉄道分野の国際規格の 動向と鉄道総研の役割

【概要】

鉄道総研は国際規格の開発のために、国際会議への参加や国内委員会の運営、各種会議の開催に積極的に取り組んでいます。

国際電気標準会議（IEC）には鉄道関係専門委員会（TC9）が設けられており、鉄道車両の電気品や電力、信号関係などの規格やプロジェクトを担当しています。鉄道総研は国内審議団体としてTC9国内委員会を運営しています。一方、国際標準化機構（ISO）には鉄道関係のTCはなく、各ISO規格案は、個々に関連するTCにおいて審議されています。

鉄道総研は、一元的な鉄道分野の事務局の発足を目指して、本年7月に「鉄道国際規格センター準備室」を設置しました。今後、関係協会等と連携して国際標準化活動の事務局業務を行う準備を進めてまいります。



1. 国際的な活動

- IEC/TC9 年次総会やCAG(Chairman Advisory Group)会議の出席
- 規格案件毎に開催される国際作業部会への出席
- 国際会議の開催支援(2008年度は環境条件・フランクフルト会議
列車内情報制御伝送系・東京会議等の開催支援)
- JISC(日本工業標準調査会)-CENELEC(欧州電気標準化委員会)
情報交換会への参加



列車内情報制御伝送系 国際会議
(2008.6、東京)



JISC-CENELEC情報交換会
(2008.10、マドリード)

2. 国内の活動 (IEC関係)

- IEC/TC9 国内委員会やTC9調整部会の開催
- IEC中央事務局や経済産業省の発行文書の管理
- 国際投票を含むそれら文書に対する必要な対応とその状況監視
- 国内作業部会(規格案件毎)の管理・運営

3. 国内の活動 (ISO関係)

- ISOにおける鉄道分野の活動に対する調査・分析
- 既存ISO規格の適正化、鉄道分野で新たに開発すべき規格の検討
- 鉄道関係TC設置に向けた取り組み